



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三城ホールディングス

コード番号 7455 URL <http://www.paris-miki.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田 将広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 ファイナンス担当 (氏名) 中塚 哲郎 TEL 03-6432-0732

四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 2018年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	26,207	△0.7	724	△9.0	793	△12.3	376	△32.5
2018年3月期第2四半期	26,398	1.6	796	164.6	905	441.4	558	—

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 385百万円 (△34.7%) 2018年3月期第2四半期 590百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	7.40	—
2018年3月期第2四半期	10.90	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	45,536	33,049	71.8	641.87
2018年3月期	45,977	33,078	71.2	642.35

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 32,714百万円 2018年3月期 32,739百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2019年3月期	—	7.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,078	1.3	551	103.6	672	45.1	△410	—	△8.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年3月期2Q	56,057,474株	2018年3月期	56,057,474株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	5,090,005株	2018年3月期	5,089,207株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年3月期2Q	50,968,035株	2018年3月期2Q	51,269,778株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、発表日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内の経済状況は、猛暑や豪雨などの相次ぐ自然災害により決して良い状況ではなく、緩やかな回復基調が続くと見られていた景況感も悪化したと思われま

す。小売業界におきましても、天候の影響により外出を控えることで、個人消費にも少なからず影響があったと思われ、堅調に推移していたインバウンド需要も一旦は鈍化したと見られています。

当社グループの国内事業におきましても、夏期の販促としてTVCM等を行ったことで一定の効果があったものの、郊外型の店舗は天候の影響を受けやすく、売上高の想定を上回することは難しい状況でした。

また、主要子会社であります(株)三城におきましては、業態別の施策を店舗ごとに見直しはじめてから、既存店売上は前年を上回ってまいりましたが、不採算店の退店により店舗数は純減しているため、全社売上高は前年同期実績を下回る結果となりました。

なお、当事業年度末における(株)三城の出退店計画は、新規出店15~20店舗、退店を25~30店舗と見込んでおりましたが、出店は慎重にすすめていることから10店舗前後、退店におきましては決断を早めており35~40店舗ほどになる見込みです。

海外子会社におきましては、東南アジア地域におけるベトナム法人やフィリピン法人は堅調で利益に貢献しておりますが、中国、韓国法人が引き続き厳しい状況であり、海外法人合計としましては、営業損失となっております。

また、前連結会計年度末より連結子会社となりました国内の医療関連会社におきましては、売上高、利益ともに貢献しております。さらに今後も需要が見込まれることから、確実にすすめていきたいと考えております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高26,207百万円(前年同期比0.7%減)、営業利益724百万円(前年同期比9.0%減)、経常利益793百万円(前年同期比12.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益376百万円(前年同期比32.5%減)となりました。

報告セグメント情報の状況は、次の通りであります。

## 1) 日本

国内の売上高は22,990百万円(前年同期比0.9%減)、セグメント利益861百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

## 2) 海外

海外の売上高は3,398百万円(前年同期比1.2%増)、セグメント損失137百万円(前年同四半期はセグメント損失3百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債および純資産の状況)

総資産は前連結会計年度末に比べ441百万円減少して45,536百万円となりました。これは主に流動資産における商品及び製品が606百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ412百万円減少して12,486百万円となりました。これは主に流動負債における1年内返済予定の長期借入金が498百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が131百万円、未払金が226百万円、固定負債における長期借入金が500百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ28百万円減少して33,049百万円となりました。これは主に利益剰余金が31百万円減少したことによるものです。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に対して、376百万円増加し、11,653百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は1,115百万円(前年同四半期は1,156百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益718百万円によるものです。

投資活動の結果使用した資金は207百万円(前年同四半期は270百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出359百万円によるものです。

財務活動の結果使用した資金は479百万円(前年同四半期は1,177百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額408百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月15日に公表しました通期業績予想につきまして、修正は行っておりません。

しかし、事業会社の業績推移や新規事業展開の進捗状況、および世界情勢の変化等により、修正が必要と判断した場合には速やかに開示する予定です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,286	17,651
受取手形及び売掛金	3,325	3,311
商品及び製品	10,189	9,582
原材料及び貯蔵品	1,115	1,157
その他	1,096	1,068
貸倒引当金	△180	△180
流動資産合計	32,831	32,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,323	2,345
機械及び装置(純額)	27	29
工具、器具及び備品(純額)	944	945
土地	926	901
建設仮勘定	76	50
その他(純額)	39	35
有形固定資産合計	4,337	4,306
無形固定資産	717	584
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,547	5,333
建設協力金	53	48
繰延税金資産	167	142
その他	2,481	2,688
貸倒引当金	△106	△106
関係会社投資損失引当金	△51	△51
投資その他の資産合計	8,090	8,054
固定資産合計	13,146	12,945
資産合計	45,977	45,536

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,714	1,583
短期借入金	5,808	5,751
1年内返済予定の長期借入金	2	500
未払金	2,176	1,949
未払法人税等	378	356
賞与引当金	68	72
店舗閉鎖損失引当金	52	57
その他	1,355	1,396
流動負債合計	11,555	11,667
固定負債		
長期借入金	500	—
役員退職慰労引当金	58	46
退職給付に係る負債	15	2
繰延税金負債	69	93
資産除去債務	409	389
その他	290	286
固定負債合計	1,343	819
負債合計	12,899	12,486
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,901	5,901
資本剰余金	6,829	6,829
利益剰余金	28,113	28,081
自己株式	△8,644	△8,644
株主資本合計	32,199	32,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	178	274
為替換算調整勘定	362	272
その他の包括利益累計額合計	540	547
新株予約権	44	39
非支配株主持分	294	296
純資産合計	33,078	33,049
負債純資産合計	45,977	45,536

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	26,398	26,207
売上原価	8,698	8,735
売上総利益	17,700	17,472
販売費及び一般管理費	16,903	16,747
営業利益	796	724
営業外収益		
受取利息	10	17
受取賃貸料	9	21
為替差益	49	—
受取手数料	5	5
貯蔵品売却益	3	11
協賛金収入	8	24
その他	77	44
営業外収益合計	164	123
営業外費用		
支払利息	12	18
為替差損	—	13
支払手数料	9	7
持分法による投資損失	11	—
その他	22	14
営業外費用合計	55	54
経常利益	905	793
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	29	15
店舗解約損失金	18	5
投資有価証券評価損	2	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	40	54
特別損失合計	91	75
税金等調整前四半期純利益	814	718
法人税等	251	339
四半期純利益	563	379
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	558	376

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	563	379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72	96
為替換算調整勘定	△46	△90
持分法適用会社に対する持分相当額	1	—
その他の包括利益合計	27	5
四半期包括利益	590	385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	581	383
非支配株主に係る四半期包括利益	8	1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	814	718
減価償却費及びその他の償却費	564	445
賞与引当金の増減額(△は減少)	10	4
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8	△11
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	5	35
受取利息及び受取配当金	△12	△19
支払利息	12	18
為替差損益(△は益)	△41	0
持分法による投資損益(△は益)	11	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	29	15
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	—
投資有価証券評価損益(△は益)	2	—
売上債権の増減額(△は増加)	△404	△69
たな卸資産の増減額(△は増加)	72	506
その他の資産の増減額(△は増加)	△32	8
仕入債務の増減額(△は減少)	△108	△38
その他の負債の増減額(△は減少)	349	△126
その他	16	△8
小計	1,299	1,480
利息及び配当金の受取額	27	19
利息の支払額	△12	△18
法人税等の支払額	△157	△364
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,156	1,115
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△5	△12
有形固定資産の取得による支出	△442	△359
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	0	—
敷金及び保証金の差入による支出	△144	△35
敷金及び保証金の回収による収入	271	235
建設協力金の回収による収入	11	8
その他	42	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△270	△207
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△22
長期借入金の返済による支出	△514	△2
配当金の支払額	△460	△408
非支配株主への配当金の支払額	△0	—
その他	△202	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,177	△479
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△283	376
現金及び現金同等物の期首残高	11,617	11,276
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,334	11,653

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の国内連結子会社は、税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,084	3,313	26,398	—	26,398
セグメント間の内部 売上高又は振替高	121	44	166	△166	—
計	23,206	3,358	26,564	△166	26,398
セグメント利益又は損失(△)	801	△3	797	△1	796

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,884	3,323	26,207	—	26,207
セグメント間の内部 売上高又は振替高	106	74	181	△181	—
計	22,990	3,398	26,389	△181	26,207
セグメント利益又は損失(△)	861	△137	724	0	724

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。